

# 創造的な自治体経営を目指して 「三鷹市自治体経営白書2005」 が完成しました



このほど、「三鷹市自治体経営白書2005」(以下、「自治体経営白書」)を発行しました。今回、「自治体経営白書」の発行も4冊目(4年目)となります。これまで「自治体経営白書」では、成果だけでなく、未達成の課題や評価結果の思わしくなかった事業も明らかにしてきましたが、それは、行政が自己革新を進めるとともに、「いま三鷹に何が必要なのか、何を優先すべきなのか」を市民のみなさんと一緒に考えるためにも問題意識とその基礎となる情報を共有しなければならないとの基本方針によるものです。

今後も、みなさんのご意見を伺いながら「自治体経営白書」の充実を図り、「創造的な自治体経営」の確立を目指していきます。

⇒企画経営室行政評価担当 ☎内線2150・2151 ☎48 1419 ✉kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

## 白書第 3 章に掲載している取り組み(表1)

「あすのまち・三鷹」プロジェクトの推進
第3次基本計画の改定
土地利用総合計画の改定
緑と水の基本計画の策定
行財政改革アクションプラン2010の策定
「創造的予算編成方式」の推進
軽自動車税のコンビニ収納
実践的な防災関係機関連携訓練
経営本部体制の構築と新たな課題に応じた組織改正
情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の推進
インテリジェント・コミュニティトップ7の選出

第3章では、116の取り組み指標の前期目標(平成16年)

## 平成16年度事業評価 事後評価結果の集計(表2)

事業評価対象事業数の集計(平成16年度)			
	重点管理事業	部内管理事業	総計
企画部	11	5	16
総務部	4	1	5
市民部	2	4	6
生活環境部	11	7	18
健康福祉部	6	7	13
都市整備部	7	14	21
水道部	2	3	5
教育委員会	5	11	16
総計	48	52	100

## 事後評価結果の集計

評価	レベル	1	2	3
進捗状況評価		54	39	7
成果評価		54	39	8
効率性・経済性評価		24	74	2

## 事後評価項目と評価レベル

進捗状況評価	成果に対する評価	効率性・経済性に対する評価
1 計画どおり <計画以上進捗を含む>	1 大	1 高
2 ほぼ計画どおり	2 中	2 中
3 計画どおりでない	3 小またはなし	3 低

## 行財政システム改革実施方針の達成状況(表3)

	達成	一部達成	検討、準備中	未着手	計画全体・目標の見直し	合計
重点課題	4					4
緊急課題	42	10	5			57
推進課題	55	19	13	1	5	93
合計	101	29	18	1	5	154

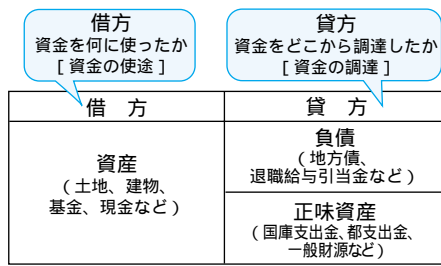
## バランスシート(普通会計・市全体・連結)平成15年度(表4)

(単位:億円)

借方				貸方			
普通会計	市全体	連結		普通会計	市全体	連結	
[資産の部]				[負債の部]			
1. 固定資産				1. 固定負債			
(1) 有形固定資産	1,997.1	2,185.0	2,319.2	(1) 地方債	410.9	506.9	649.0
(うち土地)	(1,369.9)	(1,392.4)	(1,521.1)	(2) 債務負担行為	0.0	0.0	0.0
(2) 無形固定資産	0.0	3.3	3.5	(3) 退職給付引当金	163.2	172.0	172.6
固定資産合計	1,997.1	2,188.3	2,322.7	(4) その他	0.0	0.0	0.5
2. 投資等				固定負債合計			
(1) 投資及び出資金	19.5	19.5	3.7	574.1	678.9	822.1	
(2) 貸付金	0.1	0.1	0.1	2. 流動負債			
(3) 基金	75.1	80.9	82.8	流動負債合計			
(4) 基本財産	0.0	0.0	13.0	78.7	83.8	87.9	
投資等合計	94.7	100.5	99.6	負債合計			
3. 流動資産				652.8	762.7	910.0	
(1) 現金・預金	38.2	42.4	45.0	[正味資産の部]			
(2) 未収金	18.9	32.2	33.1	正味資産合計			
(3) その他	0.0	0.0	12.6	1,496.1	1,600.7	1,603.0	
流動資産合計	57.1	74.6	90.7				
資産合計	2,148.9	2,363.4	2,513.0	負債・正味資産合計			
				2,148.9	2,363.4	2,513.0	

(平成16年3月31日現在)

## バランスシートの構造



## 「自治体経営白書2005」へのご意見をお寄せください

このたびまとまった「自治体経営白書」について、ご意見、ご感想などをお寄せください。自治体経営白書の全文は三鷹市ホームページでご覧になれるほか、市政資料室(市役所2階) 市政窓口、図書館、各コミュニティセンターで冊子が閲覧できます。なお冊子は、市政資料室や市政窓口で配布しています。

⇒企画経営室行政評価担当 ☎内線2150・2151

## 自治体経営白書の構成と特徴

特別寄稿 三鷹市の自治体経営の分析

三鷹市の自治体経営の現状や課題について、有識者による客観的で専門的な分析・解説として、地方自治総合研究所研究員の菅原敏夫さんによる「三位一体改革」と三鷹市における財政的課題、地域内・地域間の分権にむけて」を掲載しています。

第3章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み

基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に基づいて、施策を展開した平成16年度の取り組みとして「あすのまち・三鷹」プロジェクトなど、11事業について掲載しています(表1)。

第3章 第3次基本計画の達成状況

【施策の進捗状況】第3次基本計画の達成状況に関して、基本計画を構成する全34施策の進捗状況とその成果について説明しています。基本計画では、34施策について「まちづくり指標」を設定し、各施策の目指す目標を可能な限り数値で示し、その達成状況を把握する取り組みを進めています。

対する平成16年度末時点の達成状況についてグラフを用いて分かりやすく説明するとともに、施策の成果や未達成の課題を明らかにすることにより、施策の評価を行い、この評価をふまえた今後の展開も記しています。平成16年度の達成状況において、全まちづくり指標55件のうち、約6割の指標について前年度に比べて成果が向上しましたが、前期目標を達成したものが28件、達成に至らなかったものが23件、平成16年度の統計データなどがないものが4件という結果でした。なお基本計画は、前期の計画期間の満了をふまえ、平成17年3月に改定を行いました。この改定に当たっては、まちづくり指標の中期目標(平成19年度)および最終目標(平成22年度)の設定や修正を行うとともに、成果指向の計画行政をさらに推進するために、まちづくり指標の大幅な拡充を図り、改定前は55件であったものを85件に増やし、より多様な指標を用いて施策の推進・達成状況を明らかにすることとなりました。

【事業評価の結果】基本計画に掲載する主要事業などの個別事業の取り組み状況と成果については、平成16年度の事業評価対象事業である100件の評価結果について、その概要を掲載しています。事業評価は、平成16年度は3年目の取り組みとなり、1次評価を行う主管部においても評価の作業の習熟や考え方の理解も進み、より客観的に事業の進捗状況や成果を評価できるようになってきました。さらに、2次評価を行う事業評価審査会(企画部長・総務部長ほかで構成)においても、引き続き客観的で正確な評価を進めるために審査基準の設定を行いました。特に「効率性・経済性」の評価項目においては、レベル1の「高」となるには、事業の結果として予算の執行残が生じただけでなく、「コスト削減を図った積極的な取り組みが示されなければならない」との厳しい基準を示し、評価を行っています。また、「進捗状況」や「成果」を評価するに当たっても、当初計画と執行結果との比較や、まちづくり指標の目標値と実績の数値などを精査することにより、より厳密で正確な評価を進めました(表2)。

【第3章「各部の運営方針と目標」の達成状況】平成15年度から始めた「各部の運営方針と目標」の取り組みについて達成状況を掲載しています。「各部の運営方針と目標」は、部の使命・目標に関する認識、職員数、予算規模等の部の経営資源の把握等が構成されていますが、平成16年度の達成状況については、個別事業とその目標の実績について説明しています。

【第4章 三鷹市の財政状況】平成15年度までの決算データをもち、三鷹市の歳入・歳出などに関する財政状況について説明するとともに、平成15年度のバランスシート・行政コスト計算書を掲載しています(バランスシート「普通会計・市全体・連結」は表4のとおりです)。

【資料編】平成16年度の事業評価対象事業の評価表を掲載し、個々の事業の取り組み状況や成果を明らかにしています。また、平成15年度の財務諸表(詳細版)を掲載しています。